



## 目次

◆ブロックからのお知らせ..... 1	◆事務局からのお知らせなど.....2
■第 44 回日本野鳥の会東北ブロック協議会総会参加報告..... 1	■会員数.....2

## ◆ブロックからのお知らせ

### ■第 44 回日本野鳥の会東北ブロック協議会総会 参加報告

【日時】 2023 年 6 月 17 日（土） 9:30～15:30

【場所】 岩手県民情報交流センター 501 会議室

【担当支部】 日本野鳥の会宮古支部

【参加者】 計 35 名

青森県支部（1 名）、弘前支部（2 名）、秋田県支部（2 名）、宮城県支部（4 名）、山形県支部（2 名）、郡山支部（1 名）、北上支部（2 名）、もりおか（10 名）、宮古支部（9 名）、財団（2 名）

【あいさつ】

関川宮古支部長より開会のあいさつ

【基調講演】

「中国 100 万羽の野鳥を輸出」と題して遠藤公男氏より基調講演として、中国での野鳥市場の調査やポーヤン湖でのソデグロツルの話をいただいた。また、90 歳を記念して、花束の贈呈が行われた。

【協議】

#### 1. 第 43 回総会会計報告

- 前回の総会の会計報告が宮城県支部よりなされ、承認された。

#### 2. 最近の再生エネルギーの問題

- 宮古支部より、反対してきたイヌワシの採餌牧野での風力発電計画に地域が同意し、着工。繁殖地は法的に守られているが採餌場をどう守るかが重要。
- 浦より、法的な根拠のある対応は難しい。地元の反対意見を盛り上げるしかない。アセス法では止められない。種の保存法やイヌワシのセンシティブティマップなど別の対応が必要。
- 青森県支部より、アセス法では事業は止ま

らない。市町村長の反対が効果的で市町村長および議会への働きかけ、マスコミ対応が重要との指摘があった。

#### 3. コロナ禍と会員の高齢化と会員維持の課題

- 宮古支部より震災以降、高齢化などで減少。支部の運営費も厳しい状況。各支部の取り組みを聞きたい。
- 赤い鳥会員が増加している宮城県支部より、facebook を使って探鳥会の情報を下見も含めて写真つきで、発信していることが貢献していると思うとの話があった。また新入会員を手厚くケアして早期退会を防ぐようにしているとのこと。
- 秋田県支部より 女性会員の LINE グループを作っており、探鳥会参加者を誘ってつながりを作っており、これが入会に繋がっているとの報告があった。
- 宮古支部よりうっかり振り込み忘れの退会が見られる。継続のお願いをしっかりと欲しいとのリクエストがあった。
- 山形県支部は何もしていないが赤い鳥会員は増えている。もりおかでは写真を撮る方の入会が増えている。数年続けている写真展が効いているのかも。
- 弘前支部より、会員間での鳥情報を共有している SNS の存在が動機の一つとなっている。退職者の入会が多いが若者の入会がないのが悩みとの報告があった。

#### 4. カッコウ類の最近の状況

宮古支部よりの発議で各地の状況を参加者間で共有された。参加者の個人的感覚の共有であったが、地域により差異が見られた。

#### 5. オンライン開催のノウハウについて

- 青森県支部の関下支部長より ZOOM の使用時の音声機器等の接続のノウハウの紹介が行われた。
- 宮城県支部では幹事会はすべて ZOOM で実施している。

- 郡山支部より ZOOM は無料アカウントでの利用だが、時間制限のため、逆に会議が完結で濃密なものになっているとの意見もあった。

#### 6. 次期開催支部

次期総会は、弘前支部が幹事支部となり開催することとなった。6月の第三週末に十二湖で対面での開催を予定している。

各地からの活動報告が行われた、その中よりトピック的なものを取り上げる。

- 青森県支部
 

支部会員費は三沢や八戸野鳥の会などがそれぞれの地域で徴収している。青森県支部としての会員数は減少しているが、各地域の野鳥の会の努力もあり会員数は増えているようであるが、支部会員増加につなげたい。
- 弘前支部
 

弘前大学との連携が特徴。内水面漁連よりの委託でカワウの調査、県より鳥獣保護区の調査も行っている。
- 秋田県支部
 

西出副支部長の訃報。ほぼコロナ以前の探鳥会に戻る。カモ類一斉調査、秋の猛禽類の渡りの調査。風力発電の問題多数。知事が導入に積極的。財団と日本雁を保護する会と共同で取り組む。
- 宮城県支部
 

支部報のデジタル化を検討。シギ・チドリ、ハクチョウ類、コクガンの調査。蒲生海岸の調査竹丸支部長から小室支部長に交代。
- 山形県支部
 

築川支部長から細谷支部長に交代。ため池工事に抗議。
- 郡山支部
 

熊谷支部長から湯浅支部長に昨交代 シギ・チドリ類調査 ガンカモ調査を実施。福島県鳥類目録を更新。市民向けに野鳥講座を開催。再生可能エネルギーへの基本的対処方針の策定。猪苗代湖のラムサール条約湿地を目指している。(コハクチョウの1%基準を満たしている。)
- 北上支部
 

バードウィークに一般向けの探鳥会。傷病オオハクチョウが連続して繁殖。渡りをせずに留鳥化。
- もりおか
 

独自調査として初認終認調査、春と秋のガンカモ類の渡り追跡調査、カッコウ、オオジシギの生息調査を実施している。風力発電計画に対して13件の事案について対応。定例探鳥会を行っている「高松の池」のヨシ原保全に関して報告があった。
- 宮古支部
 

オジロワシ・オオワシ調査を39年行っているがサケの遡上が減りワシ類の確認数が減少している。一方、海岸などに海水を飲みに来るアオバトの確認数は増加している。

最後に集合写真を撮影して閉会となった。



(常務理事／葉山政治)

## ◆事務局からのお知らせなど

### ■総務室より

#### ■会員数

8月1日時点の会員数は33,453人で、先月と比べ83人減少しました。

7月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より8人少なくなっています。

7月1日付の入会者数は167人で、前年同月の入会者数167人と同じです。

また、7月末日付の退会者数は175人で、前年同月の退会者数184人と比べ9人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 7月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	6 人	10 人
総合会員(おおぞら会員)	27 人	34 人
本部型会員(青い鳥会員)	22 人	24 人
支部型会員(赤い鳥会員)	82 人	70 人
家族会員	30 人	37 人
合計	167 人	175 人
年度累計	801 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数（8月1日時点）

都道府県	会員数	対前回差
北海道	1,591 人	-4 人
青森県	218 人	-1 人
岩手県	334 人	-1 人
宮城県	529 人	-1 人
秋田県	243 人	-1 人
山形県	221 人	0 人
福島県	516 人	-2 人
茨城県	839 人	3 人
栃木県	806 人	2 人
群馬県	591 人	-2 人
埼玉県	1,959 人	0 人
千葉県	1,460 人	-5 人
東京都	4,635 人	-31 人
神奈川県	3,112 人	-4 人
新潟県	339 人	-3 人
富山県	190 人	1 人
石川県	261 人	-3 人
福井県	217 人	0 人
山梨県	254 人	4 人
長野県	828 人	1 人
岐阜県	470 人	-2 人
静岡県	1,207 人	-1 人
愛知県	1,557 人	-7 人
三重県	441 人	0 人
滋賀県	323 人	-1 人
京都府	800 人	-5 人
大阪府	1,880 人	0 人
兵庫県	1,255 人	-2 人
奈良県	458 人	-1 人
和歌山県	207 人	-2 人
鳥取県	223 人	3 人
島根県	212 人	3 人
岡山県	549 人	-2 人
広島県	575 人	-6 人
山口県	319 人	-2 人
徳島県	325 人	0 人
香川県	195 人	1 人
愛媛県	350 人	-5 人
高知県	102 人	-1 人
福岡県	1,182 人	-2 人
佐賀県	212 人	1 人
長崎県	212 人	-3 人
熊本県	358 人	4 人
大分県	219 人	0 人
宮崎県	233 人	1 人
鹿児島県	327 人	-9 人
沖縄県	84 人	-1 人
海外	10 人	1 人

不明	25 人	2 人
全国	33,453 人	-83 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（8月1日時点）

支部	会員数	対前回差
オホーツク支部	237 人	0 人
根室支部	74 人	-1 人
釧路支部	136 人	-1 人
十勝支部	180 人	1 人
旭川支部	78 人	0 人
滝川支部	39 人	0 人
道北支部	25 人	1 人
江別支部	22 人	-1 人
札幌支部	297 人	3 人
小樽支部	54 人	-1 人
苫小牧支部	162 人	-1 人
室蘭支部	123 人	-2 人
道南檜山	67 人	1 人
青森県支部	115 人	-1 人
弘前支部	110 人	1 人
秋田県支部	233 人	-1 人
山形県支部	211 人	0 人
宮古支部	68 人	0 人
もりおか	147 人	-1 人
北上支部	90 人	0 人
宮城県支部	496 人	-2 人
ふくしま	130 人	1 人
郡山支部	143 人	-2 人
白河支部	20 人	0 人
会津支部	52 人	1 人
奥会津連合	5 人	0 人
いわき支部	92 人	-1 人
福島県相双支部	15 人	0 人
南相馬	20 人	0 人
茨城県	745 人	3 人
栃木県支部	796 人	1 人
群馬	519 人	-1 人
吾妻	44 人	-2 人
埼玉	1,455 人	-3 人
千葉県	886 人	-3 人
東京	2,610 人	-25 人
奥多摩支部	748 人	-6 人
神奈川支部	2,035 人	-3 人
新潟県	262 人	-3 人
佐渡支部	33 人	0 人
富山	170 人	0 人
石川	240 人	-2 人
福井県	213 人	-1 人
長野支部	399 人	0 人
軽井沢支部	149 人	-2 人
諏訪支部	234 人	-2 人
木曾支部	20 人	0 人
伊那谷支部	74 人	1 人

甲府支部	192 人	8 人
富士山麓支部	51 人	-1 人
東富士	57 人	1 人
沼津支部	126 人	-1 人
南富士支部	217 人	-2 人
南伊豆	40 人	0 人
静岡支部	310 人	-1 人
遠江	357 人	1 人
愛知県支部	1,192 人	-4 人
岐阜	446 人	-4 人
三重	384 人	0 人
奈良支部	394 人	-1 人
和歌山県支部	216 人	-2 人
滋賀	309 人	-3 人
京都支部	747 人	-4 人
大阪支部	1,734 人	-2 人
ひょうご	961 人	-3 人
鳥取県支部	235 人	0 人
島根県支部	201 人	1 人
岡山県支部	525 人	-1 人
広島県支部	501 人	-7 人
山口県支部	298 人	-1 人
香川県支部	155 人	1 人
徳島県支部	348 人	-1 人
高知支部	92 人	0 人
愛媛	323 人	-3 人
北九州支部	230 人	-2 人
福岡支部	537 人	0 人
筑豊支部	215 人	-1 人
筑後支部	141 人	-1 人
佐賀県支部	268 人	3 人
長崎県支部	195 人	-3 人
熊本県支部	350 人	5 人
大分県支部	206 人	0 人
宮崎県支部	223 人	1 人
かごしま県支部	306 人	-7 人
やんばる支部	48 人	0 人
西表支部	48 人	-1 人
	28,251 人	-89 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦岳志）

#### ◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

今年は 8 月の初旬から早くもアオオマツムシやエンマコオロギの鳴き声が聞こえて来ました。これも暑さの影響なのでしょう。この先も残暑が厳しい様子。皆様、気をつけて過ごされてください。

次号もどうぞよろしくお願いたします。

日本野鳥の会

## 支部ネット通信

2023 年 8 月号・通巻 259 号

#### ◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2023 年 8 月 25 日

#### ◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平  
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org